

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイSES藤枝てんのう校		
○保護者評価実施期間	令和7年 10月 4日 ~ 令和7年 11月 7日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	令和7年 10月 4日 ~ 令和7年 11月 7日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 11月 7日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	1週間を通して活動を毎日行っており利用者の運動機能・認知機能・言語・社会性といった基礎的発達領域の成長を継続的に支えやすくなっています。小さな成長を積み重ね安定した発達の軌道を作っています。	全員参加を目標として行っており、小さな課題の達成を日々経験することで自己肯定感が高まり前向きな活動参加を目指しています。	職員全員が児童一人ひとりの目標を明確化し、毎日どの活動でどのスキルを狙うかを設定する事で目的をもって活動を行えるよう図っています。
2	職員の得意を活動に取り入れそれを軸に関わることで、日々の支援が安定・一貫性を保ちやすくなります。また、他の職員に対し指導を行う事で職員全体のスキルアップに繋がっています。	担当職員を置くことで責任感を持って支援に臨むことが出来ています。	開所が令和7年6月の為1年を通しての活動がまだ行えていないのでこの一年を通じ年間スケジュールの流れの確立を行っています。
3	利用者の興味を活動に取り入れる事でモチベーションと学習効果の向上を図り、自発的な試行錯誤を増やす事で学習の自発性や探究心を育てています。	利用者の興味や最近の話題を確認しそれを活動に取り入れるために必要なことを一緒に考えます。また、利用者同士での協働やコミュニケーションが自然に生まれる事で関係作りも行う事が出来ます。	活動の見直しを行い目標設定や評価指標を具体化して次回行う活動へと繋げています。

	事業所の弱み（※）だと思われる事 ※事業所の課題や改善が必要だと思われる事	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	令和7年6月開所の為年間での活動スケジュールが確立できていない為急務として行っています。	1年間を通して利用者の特性や能力を理解・把握しそれを活かした活動を計画できるようにします。	月ごとのイベントや活動を職員間で前月に話し合い様々な体験が出来るよう努力しています。
2	地域との交流不足。	ノーマライゼーションの考え方から地域との交流機会を増やしていきたいです。	地域のイベントや子ども食堂への参加を通じ地域との関りを増やします。
3			